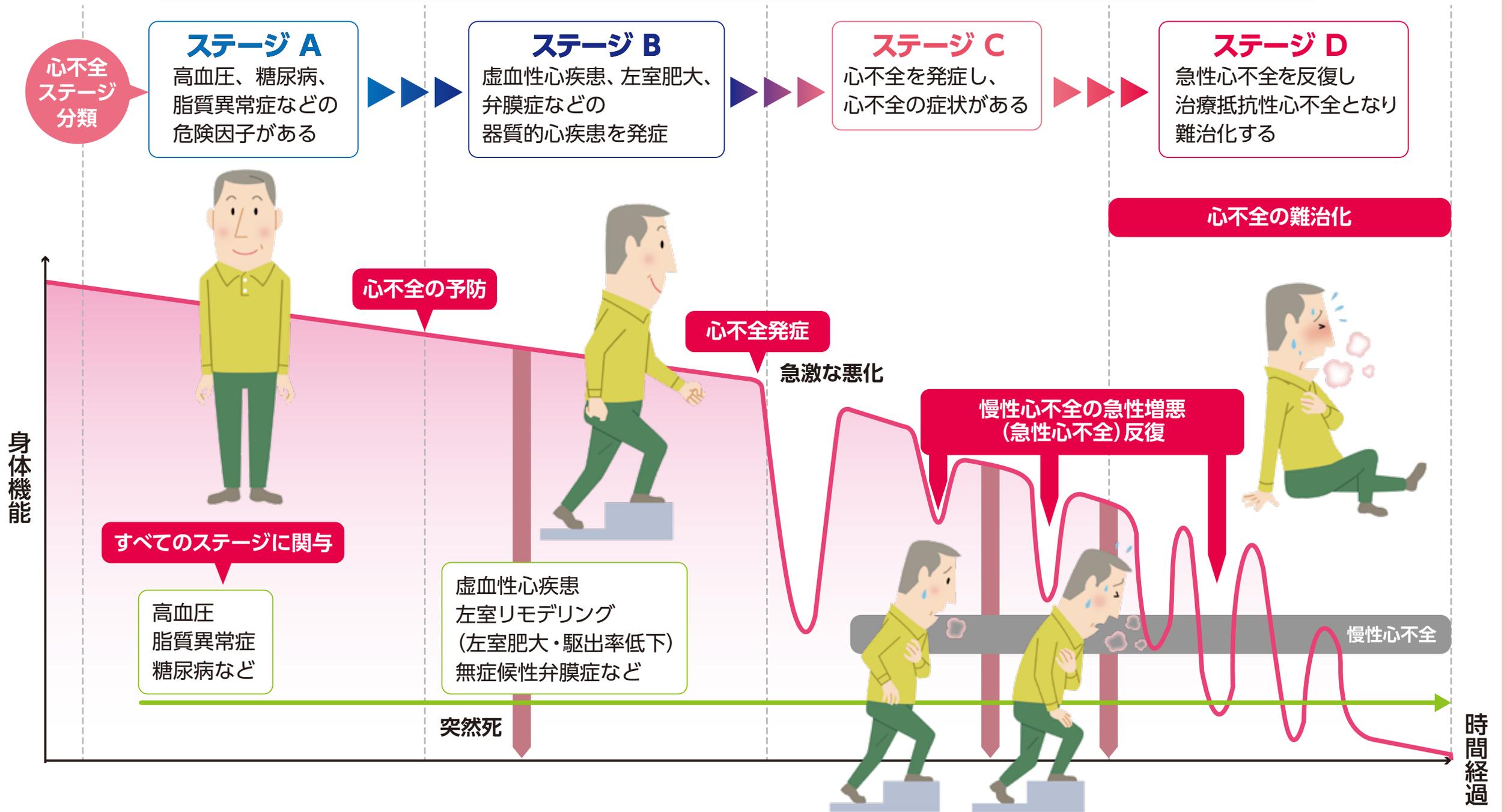


心不全の定義とそのリスクの進展ステージ

心不全とは、心臓が悪いために、息切れやむくみが起こり、だんだん悪くなり、生命を縮める病気です。



治療目標

- 危険因子のコントロール
- 器質的心疾患の発症予防

- 器質的心疾患の進展予防
- 心不全の発症予防

- 症状コントロール
- QOL 改善
- 入院予防・死亡回避

- 再入院予防
- 緩和ケア
- 終末期ケア

心不全の主な原因疾患

心不全は、あらゆる病気の終末像で様々な原因で心不全になります。

高血圧

血液を送り出すための大きな力が必要となり、心臓の筋肉が太く大きくなって、かえって動きが悪くなり、心臓に圧力がかかる病気です。

弁膜症

心臓内の血液の流れを調整する弁の病気です。

心筋梗塞

心臓の血管が詰まる病気です。

不整脈

脈が乱れる病気です。

狭心症

心臓の筋肉に血液を送っている冠動脈が細くなったり、詰まりかかったりすることで筋肉に血液が届かなくなる病気です。

心不全

心筋症

心臓の筋肉が異常をきたす病気です。

腎不全

腎臓の働きが大幅に低下した状態になる病気です。

糖尿病

血液中に含まれているブドウ糖(血糖)が異常に多くなり、放っておくと、神経や目、腎臓などの全身の組織や機能に障害が起こる病気です。

心不全を繰り返さないために気をつけるべきこと

減塩



塩分・水分の制限



感染予防



毎日薬を飲む



症状の観察



無理をせず休憩をとる



体重測定

- 塩分や水分をとり過ぎないように、指示を守りましょう。
- 手洗いや必要に応じて人混みでのマスクの着用、インフルエンザ・肺炎球菌の予防接種を受けるなど、感染を予防しましょう。
- 処方されている薬を毎日きちんと服用しましょう。
- 息ぐるしさ・むくみ・だるさや疲労感などの症状を観察し、症状があるときは無理をせず、休憩をとりましょう。
- 毎日体重を測定し、記録しましょう。数日間で急激な体重増加がある場合は、かかりつけ医や病院を受診しましょう。